



TITLE:

# 投稿欄に見る雑誌読者コミュニティへの参加の欲求 -- 「千一問」の女性名の質問を中心に

AUTHOR(S):

山本, 博之

---

CITATION:

山本, 博之. 投稿欄に見る雑誌読者コミュニティへの参加の欲求 -- 「千一問」の女性名の質問を中心に. CIRAS discussion paper No.92: 『カラム』の時代XI -- マレー・イスラム世界の女性と近代 2020, 92: 8-15

ISSUE DATE:

2020-03

URL:

[https://doi.org/10.14989/CIRASDP\\_92\\_8](https://doi.org/10.14989/CIRASDP_92_8)

RIGHT:

© Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University

# 投稿欄に見る 雑誌読者コミュニティへの参加の欲求 「千一問」の女性名の質問を中心に

山本 博之

本稿は、1950年代から60年代にかけてマレー・イスラム世界で刊行されたジャウィ表記のマレー語月刊誌『カラム』で最も長く連載されていたコラムである「千一問」の概観を捉える試みの1つである。「千一問」は、読者から寄せられた質問に対してイスラム教の立場から誌上で回答を与えるコラムであり、途中で何回か休載があったものの、第1号である1950年7・8月号から最終号となった1969年10月号まで連載が続いた唯一のコラムである。「千一問」の概観については[坪井 2016a]などがある。本稿は、先行する概観と一部で重複しつつ、質問者に注目することで「千一問」の特徴の一端を明らかにする。

『カラム』は第1号から第228号まで刊行が続いたが、合併号があるため、通算の刊行回数は225回である。「千一問」は第1号から第228号まで掲載され、基本的に毎号掲載されていたが、225回の刊行のうち36号分<sup>1)</sup>に掲載されなかったため、筆者が確認できた限りで「千一問」が掲載されたのは189号分である<sup>2)</sup>。

「千一問」は、読者から『カラム』編集部の手紙で寄せられた質問に誌上で回答するという形をとった。記事には回答者としてアブ・アルモフタル (Abu Al-Mokhtar)<sup>3)</sup>の名前が書かれているが、「千一問」には複数の人が関わっていたようである。アブ・アルモフタルの素性について、1953年5月号で、「千一問」を担当する委員会があり、アブ・アルモフタルはその委員長の筆名であると回答されている [Qalam 1953. 5:

40]<sup>4)</sup>。1955年3月号にはマレー語ジャーナリストのオスマン・カラム (Othman Kalam)<sup>5)</sup>の死を追悼する記事が掲載され、オスマンが長く「千一問」の委員長を担当してきたと書かれている [Qalam 1955.3:34]。

## 寄せられた多数の投稿

『カラム』の第1号に「千一問」のコラムが掲載され、読者の質問に誌上で回答するので質問を寄せるようにと読者に呼び掛けた。取り上げる質問の種類は「歴史、学問、宗教、その他に関することで自分たちの社会と生活に関わるもの」で、寄せられたすべての質問に答えるのではなく、読者のためになるものを選んで回答すると断っていた [Qalam 1950.7/8: 24]<sup>6)</sup>。

読者の反響は大きく、多くの質問が寄せられた。1951年2月号では、編集部に多くの質問が寄せられており、一人で質問を数十件も書いてくる人もいるが、多くの人に機会を与えたいので質問は一人1件に限るとされた [Qalam 1951. 2: 39]。また、質問を送ったにもかかわらず誌上で回答されないという問い合わせも多かったようである。編集部は1951年7月号で、すべての質問に答えるわけではないとした上で、質問を送ったけれどまだ回答されていない人は待つようにと呼び掛けた [Qalam 1951. 7:29]。

同じ号では、稀にしか起こらないことや質問のための質問は取り上げないとも断っている [Qalam 1951. 7: 29]。さらに1951年10月号では、稀にしか起こらないことや解決困難な問題よりも自分たちの社会のことがらを優先するという態度を明らかにした [Qalam 1951.10: 38]。1958年5月号でも自分たちのまわりで

1) 「千一問」が掲載されなかったのは、第66号、第70号、第71号、第107号、第110号、第111号、第114号～第121号、第127号、第142号～第152号、第156号、第159号、第161号、第163号、第167号、第169号、第170号、第183号、第186号、第187号の36号分である。

2) 1964年5月号(第166号)のみ誌面を確認できていない。第166号に「千一問」が掲載されていた場合、「千一問」の掲載号数は190号となる。本稿の記述ではとくに断らない限り第166号を除外している。

3) 人名のジャウィからローマ字への転写の方法は個人によって異なることがある。本稿では、別の情報源によってその人物の名前のローマ字綴りが判明した場合を除き、一般的なローマ字転写の方法に従っているため、実際のローマ字綴りと異なっている可能性がある。

4) アブ・アルモフタルについては本書の光成論文も参照。

5) オスマン・カラムはマレー語ジャーナリスト。ジャウィ新聞『マジュリス』(Majlis)の編集者(1935-39)などをつとめた[坪井 2016b: 20]。1955年1月29日に死去 [Straits Times 1955. 4. 30: 11]。

6) 第1号では、いずれ書籍にまとめて刊行するので記事の転載や引用をしないようにとの断りも載せている [Qalam 1950. 7/8: 24]。

日々起こることについての質問を優先すると書いている〔*Qalam* 1958. 5: 7〕。

1952年6月号では、質問を送ったのに回答されていないという問い合わせがあることを紹介し、編集部に毎日手紙が届き、日によっては20件以上の質問が来ることもあるのですぐには掲載されないと説明して読者に辛抱を呼び掛けた〔*Qalam* 1952. 6: 15〕。その後も質問は届いており、1957年7月号でも、より多くの人の質問に答えられるように質問は1人1件に限るよう改めて読者に求めている〔*Qalam* 1957. 7: 11〕。

1968年12月号では、『カラム』は宗教を基盤とする雑誌なので「千一問」では宗教の歴史や法に関する質問のみ受け付けるとし、イスラム教徒どうしで仲違いを起こすような内容の質問はしないようにと注意した〔*Qalam* 1968. 12: 30〕。このときも1回の手紙で2件以上の質問をしないようにと呼び掛けており〔*Qalam* 1968. 12: 30〕、読者から多数の質問が寄せられていたことがうかがえる。

## 質問者の総数

「千一問」の質問者について見るために、まず本稿が対象とする質問者の総数を確認しておこう。このことは「千一問」の質問と回答の区切り方と関わっている。「千一問」では、1人の質問者から複数の質問が出され、それぞれ回答されることが少なくない。質問と回答の内容分析のためにはこれらの質問と回答を切り分けることも考えられるが、本稿は質問者に目を向けるため、同一の質問者による質問が意味の上で複数に分けられ、それぞれに異なる回答が与えられている場合でも、1人の質問者の名前のもとでまとめられている場合にはあわせて1件と数える<sup>7)</sup>。また、1つの質問に対する回答が連続する複数の号にわたって掲載されている場合、それらをあわせて1件と数える<sup>8)</sup>。同一人物による質問が異なる号に掲載されている場合でも、質問内容が互いに異なっていれば、それぞれ1件

と数える<sup>9)</sup>。

こうして得られた629件には、質問者名が記されていないものが4件、他誌からの転載が1件ある。第1号に掲載された「千一問」の初回の記事では、これから誌上に掲載される「千一問」の見本として編集部によって質問と回答が示された〔*Qalam* 1950. 7/8: 24〕。1951年8月号では、前号の「千一問」の回答に対して多くの読者から質問が寄せられたために補足の回答を行っており、質問者名は示されていない。1956年3月号は、編集の過程で質問者の名前を誤って書き洩らしたのではないと思われる。1956年8月号は、同年6月に行われたムスリム同胞団の会合で出された質問に回答しているため、質問者の名前は記されていない。また、シリア在住者から質問者の名前を示した質問が1件あるが(1963年6月号)、これはエジプトの『al-Azhar』の記事を転載したものであるため本稿の分析の対象からは除外する。

したがって、以下では質問者名が記された質問と回答の624件を対象にする。なお、のべ624人の質問者の実人数は608人で、その内訳は、1回のみ掲載された質問者が595人、2回のみ掲載された質問者が10人、3回掲載された質問者が3人である。

## 筆名と実名

「千一問」では、はじめのうち筆名による質問が見られた。1950年9月号(第2号)の質問者は「Seorang Awam」(一般人)という筆名だった。1950年10月号(第3号)では、質問者5人のうち3人が「Pemuda Angkatan Baru」(新世代青年)、「Pencinta Persatuan」(団体愛好者)、「Uncle」(おじさん)の筆名で、残りの2人が実名だった。実名の質問者が住所を記しているのに対して筆名の質問者は(Pencinta Persatuanを除いて)住所が書かれていないことから、第3号までの筆名による質問はエドルスまたはその身近な人物によるものと考えられる。

7) 第22号にはHashim bin Ibrahimによる質問が2つ掲載されているが、それぞれ別の質問として扱われているために2件と数える。これにより「千一問」の質問と回答の組は640件となる。なお、本稿では採用していないが、同一の人物の質問を意味によって分けて数えるならば、筆者の区切り方では「千一問」全体で701件になる。

8) Ahmad Muhammad Qasimへの回答(第60号と第61号の2号分)、Ahmad bin Haji Hasbullahへの回答(第105号と第106号の2号分)、Osman bin Haji Salehへの回答(第128号～第132号の5号分)、Saleh bin Muhammad Aliへの回答(第137号～第141号の5号分)、Abdullah Thaniへの回答(第226号と第227号の2号分)の16号分を5件と数える。

9) 「千一問」に質問が3回掲載されたのは、Muhammad Yusuf bin Taib(第9号と第30号と第63号)、Haji Ahmad bin Haji Salim(第55号と第57号と第59号)、Raudhah Khatib Kampari(第197号と第205号と第214号)の3人である。質問が2回のみ掲載されたのは、Pemuda Angkatan Baru(第3号と第5号)、Ismail bin Haji Abdul Rahim(第6号と第7号)、Emas(第8号と第9号)、Yaakob bin Abdul Wahab(第8号と第18号)、Muhammad Kurdi Abdul Salam(第23号と第27号)、Nik Hasan bin Nik Husin(第32号と第34号)、Abdul Mu'in Abdul Karim(第36号と第37号)、Ahmad Affandi(第75号と第100号)、Ali bin Yusuf(第77号と第99号)の9人である。

1950年11月号では5人の質問者のうち1人が「Pencinta Perdamaian Masyarakat」(社会平和の愛好者)の筆名で、1950年12月号では4人の質問者のうち2人が「Pemuda Angkatan Baru」(新世代青年)と「Janda Muda」(若い寡婦)の筆名だった。これらの筆名には住所が書かれており、質問を寄せた読者が筆名を使ったものと考えられる。

1950年12月号には名前と住所を明記した質問のみに答えると注意書きが掲載された[*Qalam* 1950.12:9]。1951年1月号では9人の質問者のうち筆名は「Modern Jahiliah」(現代の無明時代)の1人だった。その後、筆名は1951年3月号と同年4月号の「Emas」(黄金)、1951年6月号の「Belia Desa」(村の青年)、そして1951年7月号の「Jiwa Murni」(純粋な魂)、「Gadis Moden」(現代の少女)、「Gadis Sekolah」(学校の少女)の3人だけで、それ以降は筆名による質問は掲載されなくなった<sup>10)</sup>。もっとも、質問を寄せる際には名前と住所を明記するようという注意書きがその後も繰り返し掲載されていたことから、誌上に掲載されたのは実名だけになったが、編集部には筆名による質問も多く寄せられていたものと思われる。

## 地理的広がり

質問者名が記されている624件のうち6人の質問者は住所が記されていない<sup>11)</sup>。また、実名の質問者のうち4人は住所の記載が不完全であるために地名が同定できない。これらを除いた614件の国別(マラヤ／半島部マレーシアでは州別)の内訳は以下の通りである。

シンガポール (67件)

半島部……ベラ (122件)、スランゴール (71件)、ジョホール (68件)、クランタン (44件)、クダ (42件)、ペナン (37件)、トレンガヌ (31件)、マラッカ (30件)、パハン (26件)、ヌグリスンピラン (26件)、プルリス (4件)

ボルネオ……サラワク (21件)、北ボルネオ (サバ) (5件)、ブルネイ (2件)

外国……タイ (17件)、インドネシア (1件)

これを12ヵ月ごとに区切って示したものが表1である。

10) 第160号では質問者の名前が「Nama dirasiahkan」(匿名)と書かれた。

11) そのうち3人は筆名(第2号のSeorang Awam、第3号のPemuda Angkatan BaruとUncle)、残りの3人は実名である。

表1の合計の件数を見ると、はじめの3年間は90～118件(1号あたり約8～10人)の質問があったが、1953年11月号から件数が3分の1に減り、1959年11月号からは年間の件数が1桁に落ち込んだ後、1962年11月号から年間の件数が十数件になったことがわかる。件数の減少については、1959年11月号からしばらく「千一問」が掲載される号が年間に6号以下の年が続いていたことから、休載の影響が背景の1つにあったものと考えられる。ただし、初期は1つ1つの質問と回答が短かく、1号あたり10件以上の質疑が掲載されていたのに対して<sup>12)</sup>、しだいに回答が長くなって、1つの質問への回答が数号にわたって掲載されていたことも背景にある。表1の「「千一問」掲載ページ数」の項目の1960年11月号からの12ヵ月間を見ると、質問者は6人だが質問と回答をあわせると「千一問」は37ページに及んでおり、これははじめの3年間の「千一問」のページ数とほぼ同じである。

質問者の地域的な広がりを見ると、最も多いのがベラ (122人、19.6%)で、スランゴール (71人、11.4%)、ジョホール (68人、10.9%)と続く。『カラム』を刊行している出版社があるシンガポールからの質問者 (67人、10.7%)は相対的に少ない<sup>13)</sup>。また、サラワク (21人、3.4%)とタイ (17人、2.7%)の質問者が相対的に多く、マラヤ／半島部マレーシア以外の地域の読者も「千一問」に関心を持って質問を寄せていたことがわかる。

## 女性名による質問

筆名または実名が書かれている624件について、その名前から判断するならば、男性名が559件、女性名が36件、イニシャルのみなどで性別不明のものが19件である<sup>14)</sup>。筆名は上述の通り14人であり、そのうち女性であることを示しているのは「Janda Muda」、「Gadis Moden」、「Gadis Sekolah」の3人で、それ以外の筆名は男性を思わせるが筆名だけでは判断できない。した

12) 例えば1951年を見ると、1月号は9件、2月号は13件、3月号は12件、4月号は12件、5月号は16件、6月号は12件、7月号は7件、8月号は8件、9月号は8件、10月号は7件、11月号は10件、12月号は8件だった。

13) 『カラム』に掲載されたムスリム同胞団の団員名簿(3,534人)の地域別内訳の上位4位は、ベラ(620人、17.5%)、シンガポール(566人、16.0%)、スランゴール(368人、10.4%)、ジョホール(361人、10.2%)である。

14) 実名に見えるけれど仮名である可能性もあり、名前だけから実際の性別を断定することはできないが、本稿では人物名をすべて実名とみなす。



表1 「千一問」の質問者の国・州別分布(12ヵ月ごと)

	'50.9- '51.10	'51.11- '52.10	'52.11- '53.10	'53.11- '54.10	'54.11- '55.10	'55.11- '56.10	'56.11- '57.10	'57.11- '58.10	'58.11- '59.10	'59.11- '60.10	'60.11- '61.10	'61.11- '62.10	'62.11- '63.10	'63.11- '64.10	'64.11- '65.10	'65.11- '66.10	'66.11- '67.10	'67.11- '68.10	'68.11- '69.10	合計
Singapore	10	9	15	4	5	5	2	3	2	1	1	0	2	1	4	2	0	0	1	67
Perak	27	29	20	4	6	3	6	8	2	1	0	0	2	0	2	2	5	3	2	122
Selangor	16	9	10	5	6	4	3	4	2	0	2	0	2	0	1	0	2	2	3	71
Johor	18	18	8	1	2	1	6	3	1	1	1	0	1	0	0	2	2	3	0	68
Kelantan	3	9	7	3	3	3	4	2	1	1	0	0	1	1	1	1	2	0	2	44
Kedah	5	14	7	3	0	0	2	4	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	0	42
P.Pinang	7	5	4	0	1	3	7	3	0	1	1	0	0	1	0	1	2	0	1	37
Terengganu	7	7	3	2	1	0	4	2	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	31
Melaka	5	5	2	3	1	0	1	2	1	0	0	1	1	0	1	1	2	2	2	30
Pahang	3	1	2	3	1	3	1	2	3	0	1	0	0	0	0	1	0	3	2	26
N.Sembilan	4	4	4	3	3	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	26
Perlis	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
Sarawak	5	1	4	0	0	0	6	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	21
North Borneo	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
Brunei	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
Thailand	1	1	3	1	1	0	1	3	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	17
Indonesia	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
不明	6	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
合計	118	116	90	32	32	23	50	40	16	5	6	2	11	4	14	15	18	16	16	624
累計	118	234	324	356	388	411	461	501	517	522	528	530	541	545	559	574	592	608	624	
発行号数	15	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10	11	12	11	10	12	225
「千一問」 掲載回数	15	12	12	12	12	9	12	12	9	4	12	6	5	4	10	10	11	10	12	189
「千一問」 掲載ページ数	41	42	35	31	34	24	34	35	31	11	37	21	13	10	33	24	26	22	35	539

12ヵ月ごとに区切ったが、1950年9月～1951年10月のみ第1号から第3号までを含めた15ヵ月分とした。  
1964年5月号は未確認のため除外した。ただし「発行号数」には含めた。

がって、人物名と筆名をあわせると、少なくとも40人が女性名となる<sup>15)</sup>。

『カラム』誌上に掲載されていたムスリム同胞団の団員名簿では、住所と名前が掲載されたことで見知らぬ人から連絡が来るようになったとの苦情があったため、女性については住所と名前を掲載しないことになった。このため、『カラム』が女性の読者に読まれていたのか、読まれていたとしたら女性読者たちがどのように反応したのかを知ることはできない。

これに対し、「千一問」では女性の質問者の実名が住所とともに掲載されており、女性の読者が確かにいたことがわかるだけでなく、女性の読者が投稿によって「千一問」に質問を寄せていたことも明らかになる。

読者からの質問に「千一問」担当者が答える形式をとる「千一問」では、回答には「千一問」担当者の考えが反映されているのに対し、質問には読者の関心が反映されている。以下では女性名による質疑の質問部分のみ掲載する<sup>16)</sup>。

## Janda Muda(1950年12月号)

出産の際、女性が目の前で裸になった状態でドゥクン〔呪術医〕あるいは近親者でない男性の医師に赤ちゃんを取り上げてもらうと法的にはどうなりますか。  
[Q.28, 2016:49]

## Hasnah binti Yahya(1951年2月号)

女性はいつ結婚するのが最も良いですか。  
[Q.48, 2016:52]  
ジェマ・アルダッワ・アルイスラミア「全マラヤ・ムスリム布教協会」の政策と目的を教えてください。  
[Q.49, 2016:52]

## Raudhah Khatib Kampawi(1951年2月号)

毒を飲んで死亡したイスラム教徒は法的にはどうなりますか。  
[Q.55, 2016:52]  
毒を与えた者は法的にはどうなりますか。  
[Q.56, 2016:53]

15) 実名の36人と筆名の3人を合わせると39人だが、1953年4月号は2人の女性名の連名による質問なので2人と数え、合わせて40人となる。

16) 筆者らの共同研究プロジェクトによる試訳がある場合は、質問番号およびディスカッションペーパーの試訳の掲載ページを [Q.28, 2016:49] (2016年のディスカッションペーパーの49ページに掲載されたQ.28) の要領で示した。掲載ページが示されていないものは本稿における試訳である。

**Halimah Ahmadi(1951年8月号)**

ネクタイ、帽子や膝の見える半ズボンを着用した場合、法的にはどうなりますか。 [Q. 67, 2016:54]

「人の真似をする人 (tashabbaha) はそれらの一部となる」という言葉はハディース [預言者の言行録] ですか。「tashabbaha」とはどういう意味ですか。 [Q. 68, 2016:54]

**Hafsah binti Ngah(1951年4月号)**

一部の「マレー」映画の中で偶像を崇拜する行為が演じられていますが、法的にはどうなりますか。 [Q. 83, 2016:56]

**Gadis Moden(1951年7月号)**

女性がカツラをつけたら法的にはどうなりますか。 [Q. 123, 2016:65]

**Gadis Sekolah(1951年7月号)**

多くの女性がヤシの葉のように眉毛を細くしていることに私は目を引かれました。これは宗教上許されていますか。 [Q. 124, 2016:66]

**Solehah binti Haji Ahmad(1951年8月号)**

家に掛かっている天馬ブランクの絵は祝福をもたらすのでしょうか。また、実際に絵のような姿をしていたのでしょうか。 [Q. 133, 2016:67]

**Halimah Hussain(1951年9月号)**

病気などの理由で血液が足りなくなった妻に輸血するため、夫が献血することは法的にどうなりますか。可能でしょうか。 [Q. 141, 2016:68]

**Fatimah binti Muhammadun(1951年10月号)**

甥や姪が叔父・叔母にフィトラ [喜捨] を与えたり、逆に叔父・叔母が甥・姪に与えたりすることは合法ですか。それとも罪になりますか。 [Q. 149, 2016:70]

**Yang binti Ali(1951年12月号)**

私には12人近く子供がいます。これ以上増えない方法を模索するつもりです。「産児制限」または「家族計画」の勧めや知識に従うことはできますか。 [Q. 160, 2016:73]

**Sariah binti Muhammad Arif(1952年2月号)**

「あたかも永遠に生きるかの如くこの世は存在し、あたかも明日死ぬかの如く来世はやってくる」というハディースの意味は何ですか。 [Q. 192, 2016:80]

**Hasmah Ahmad Din(1952年3月号)**

カディ [イスラム法の裁判官] などの証人が不在の状態、異教徒が信仰告白の2つの言葉を唱える [イスラム教に改宗する] ことはイスラム的に合法ですか。 [Q. 202, 2016:82]

**Salmah binti Abdul Ghani(1952年7月号)**

女性が馬に乗るのと自転車に乗るのとではどういう違いがありますか。この2つの乗り物に乗ると処女膜を傷つけることになりますか。 [Q. 233, 2016:91]

**Aminah binti Haji Saman(1952年8月号)**

英語を勉強するのとアラビア語を勉強するのとでは、どちらがより役立ちますか。 [Q. 248, 2016:95]

**Jamilah binti Ahmad(1952年8月号)**

もともと月経がない女性が夫と離婚した場合、その女性がイッダ [待婚期間] を待たなかったら法的にはどうなりますか。 [Q. 249, 2016:95]

**Ainah Salam(1952年9月号)**

イッダが男性ではなく女性のみに定められているのはなぜでしょうか。法的にはどうなりますか。 [Q. 251, 2017:45]

**Kamalih Ismail(1952年11月号)**

華人が経営する洗濯業者で洗った服を着て礼拝することは合法ですか。 [Q. 270, 2017:53]

**Maimunah binti Hasan(1953年2月号)**

イスラムの教えでは、妻が夫に従順であるよう命じています。どのような夫に従順であるべきなのでしょうか。5回の礼拝の義務を怠り、イスラム法を学ぼうとせず、アッラーの教えに反した行為に夢中になるというような、至高なるアッラーの法に従わない夫ですか。そのような夫にも従順であるべきなのでしょうか。 [Q. 301, 2017:64]

### Zubaidah Ali(1953年2月号)

夫は忠実にイバーダート[信仰行為]を果たしていますが、妻はイバーダートを行うよう命じられていない、あるいはイバーダートに関する知識が全くなく、また夫もそれを教えることがなかった場合、誰が罪を負うことになりますか。夫ですか、あるいは妻ですか。

[Q. 302, 2017: 65]

### Kalsom binti Muhamad(1953年2月号)

女性が、非近親者の男性に対して、宗教指導者として敬意を表して手に口づけをする、あるいは握手することは許されますか。

[Q. 305, 2017: 65]

### Aminah Harun Helmi(1953年4月号)

我々マレー人の大半は、自宅で誰かが亡くなった時、遺体を墓地に送り出すまでの間、家の壁中に掛けてある写真の額を全て裏返して伏せます。それはなぜでしょうか。それはイスラム法で定められているのか、あるいは哀悼の意を表するただの慣習なのでしょう。

[Q. 312, 2017: 69]

### Aisyah binti Abdullah, Masnah binti Widi(1953年4月号)

結婚して既に15年になる夫婦がいます。残念なことに彼らには子供ができず、2人は年配者たちの次のような言葉を聞いて落胆しています。「夫を持つ妻に子供ができなかったとしたら、来世で彼女は蛇や枕の大きさほどもある虫たちに乳をあげることになる！」これは本当でしょうか。それとも、単なるビドア[逸脱]あるいは迷信でしょうか。

[Q. 317, 2017: 70]

### Che' Rosni(1954年6月号)

幼い頃、私は村落にある学校に通い、普段はトゥドン[頭巾]を頭に被っています。現在、私は補助教員になりました。残念なことに私は同じ歳の女友達に揶揄されています。彼女らはトゥドンを被らず、髪にパーマをかけているからです。私も彼女たちの真似をしたいのですが、私の両親は次のように言ってそれを禁じます。「小さい頃からイスラム教徒の子供としてお前を育ててきた。大人になってからキリスト教徒の華人の行動を真似るのか」。今私はどうしたらいいのか迷っています。また、私の友人たちは、ますますひどく私を揶揄するようになりました。女性が頭を人前に晒したら法的にどうなるのか、ご説明をお願いします。そのよ

うな行為は罪となりますか。 [Q. 373, 2018: 65]

### Teh binti Muhammad Ali(1956年9月号)

数年前、私は他人からゴム農園の一区画を購入しました。その後、土地は繰り返し人から人へと数回にわたり転売されてきました。最近私は関係者から以下のファトワ[法学裁定]が出されたことを聞きました。それは、その農園から得た収益は非合法であるという判断でした。なぜなら、政府の土地に人が農園を作り、その後他の人がそれを譲渡したらそれは強奪であると法的に判断され、たとえ購入者が何人いようと、そこから得た収益はすべて非合法であるとされたからです。私が雇っているゴム樹液の採集人は、違法な採集をしたくないために作業を止めてしまい、非合法なお金で買ったからと家のトタン屋根を捨てようとしてしました。そのファトワは正しいのでしょうか。もし正しいとすれば、それはずっと続くのでしょうか。また、そこから得たお金で施した全てのサダカ[自発的な喜捨や慈善行為]は、利をもたらしませんか。また、その収益を合法化できる手立てはありますか。

[Q. 440, 2019: 47]

### Dayang Hasanah(1957年6月号)

断食中に私は身体の不調を感じ、医師に診てもらいました。そこで注射による投薬を受けましたが、これは法的にどうなりますか。

[Q. 472, 2019: 61]

### Sofiah binti Uthman(1957年9月号)

少し前に地元のマレー語新聞に、パキスタンのシュラワルディ首相がバンコク訪問の際にフランス大使館でダンスをしている写真が掲載されました。昨年3月にパキスタン政府はイスラム国家であると宣言したのではなかったのでしょうか。首相はイスラム政党出身ではないのか、あるいは国内でのみイスラム法が実施され、パキスタン国民だけがそれを実行するのでしょうか。この件に関してご説明願います。

### Halimah Omar(1958年7月号)

女性たちの一部には、彼女たちにとって苦痛となっている離婚の多くは、イスラム法が女性の権利を厳格に守っていないことが原因であると見なす者がいます。これは正しいのでしょうか。

### Zahrah binti Muhammad Said(1958年9月号)

時間に従って太太鼓が鳴るより先に礼拝を行った場合、その礼拝は有効ですか。同じことになりますでしょうか。

### Rukmi binti Haji Osman(1958年12月号)

宝くじに当選したばかりの人に物を売ることは許されますか。またそれは法的にどうなりますか。(なぜなら、我々に支払われるお金は宝くじの賞金の可能性があるので。) また、そのお金は我々にとっても禁じられたものでしょうか。

### Maimunah binti Ali(1963年9月号)

私は婦人服を作っている者です。私が作る一部の服のファッションは、女性が着るとすごく魅惑的なものになります。それは素材が珍しい布からできているからだけでなく、着る人の身体の一部を見せるものだからです。イスラムの観点から、私がそうした服を作ることは法的にどうなりますか。

### Cik Raudhah Khatib Kampari(1966年12月号)

私の友人の1人が真の酒飲みになりました。常に酔っぱらい、そしていつも他人と喧嘩をしています。彼が酒飲みになって以来、それは約4年前から始まったのですが、彼は今日に至るまで礼拝も断食も行っていない。しかしその間に彼はずっとイスラム教徒が食べる鶏肉を屠殺しています。そのように屠殺されたものは合法ですか、あるいはどうでしょうか。

### Cik Wok binti Othman(1967年3月号)

巡礼のイバーダートを行っている最中に月経がきた女性は法的にどうなりますか。巡礼を続けることは許されますか。

### Raudhah Khatib(1967年8月号)

現在、死亡した人の目を生きている視覚障害者の視力回復に使うための眼病基金の問題が騒がしく取り上げられています。それがどのような方法で行われるのか、またそれがイスラム法に則って法的にどうなるのか知りたいです。

### Raudhah Khatib Kampari(1968年8月号)

非イスラム教徒の墓に供え物をしたり花を手向けたりすること、またイスラム教徒自身の墓に花を手向

けることは、イスラム法の観点から法的にどうなりますか。

お腹の中の子を墮すことはイスラム法の観点から法的にどうなりますか。

### Cik Latifah binti Awang(1969年2月号)

今日のマレー語日刊紙に「ネットボール」と「サッカーボールの位置当てクイズ」というコラムがありました。それを言い当てることができたら一定の賞金がもらえます。その賞金をイスラム教徒が使うことはハラルか否か知りたいです。

### Wan Hasiah binti Wan Mamat(1969年4月号)

預言者イエスの生誕地はどこですか。またその現在の地名は何でしょうか。

預言者イエスが磔にされた(十字架にかけられた)原因は何でしょうか。預言者イエスは本当に磔にされたのでしょうか。あるいはアッラーが預言者イエスに似せて創った別の人間が磔にされたのでしょうか。磔にされたのが預言者イエスでないとしたら、彼は亡くなったのか、あるいはいなくなったのか、あるいはどうでしょうか。

### Puan Zaitun binti Abdullah(1969年6月号)

タラク・ラジーとタラク・バーインの違いと、もしあればその構成要件について説明してください。

### Cik Fatimah binti Haji Dawud(1969年7月号)

女性がヘア・スプレーをかけて礼拝を行った場合、その礼拝は無効となりますか。

蟻の死骸は容認された不浄でしょうか。もし牛乳や油などの液体物の中に蟻の死骸がたくさん混入していたら、それは不浄と見なされますか。

## むすび

「千一問」の質問からは、よきイスラム教徒として自らがどのようにふるまうべきかにとどまらず、相手に正しいイスラム教徒としてのあり方をどこまで求めてよいかを問うものが見られる。ここには、自らにイスラム教徒らしさを求める社会の目を意識している質問者の姿だけでなく、交際する相手にイスラム教徒らしく振る舞うように求めることが相手との良好な関係を保つことに有効であるかを検討している質



問者の姿が垣間見える。「千一問」への質問は、イスラム教徒として適切であるかを問う行為を通じて、日々の生活実践に心をくだき悩んでいる自分の姿を『カラム』の読者コミュニティに知ってもらう行為でもある。

女性名の質問者による質問からは、『カラム』の読者が日々の生活の中で直面していた悩みや課題の一端をうかがい知ることができる。『カラム』の読者が住んでいたマレー・イスラム世界は、植民地統治などを通じて住民の多民族・多宗教化が進んでいた地域であり、異教徒や異民族と混住する生活環境から生まれる異教徒や異民族とのさまざまな社会的な接触がイスラム教徒として妥当であるかを尋ねる質問が見られる。また、注射や移植のような近代医学によってもたらされた医療行為や、ヘア・スプレーのような新しい技術や化学成分によりもたらされた道具の利用に関する質問のように、近代化が進む中でマレー・イスラム世界にもたらされた科学技術をイスラム教徒として適切に利用するための指針を求める質問も見られる。

このような質問は男性名の質問者からも寄せられており、女性名の質問者に特有の質問であるわけではない。しかし、ムスリム同胞団の団員名簿で女性名が掲載されなくなったことに見られるように、『カラム』の読者コミュニティにおける女性読者の存在が見えにくい状況で、女性読者も男性読者と同様に、近代化が進む多宗教・多民族社会においてイスラム教徒として適切な生活実践を行うことに関心を持つとともに、そのための指針を求めて個人として雑誌に投稿していたことを示している。

「千一問」は、読者一人ひとりの悩みや関心に基づき、よきイスラム教徒としての規範を模索し、それを『カラム』誌の読者コミュニティで蓄積し共有する場だった。その意味では、「千一問」担当者による回答も重要であるが、他の読者がどのような質問をするのかを共有することも重要な意味を持っており、このような場に女性読者が積極的に参加していたことは、『カラム』の読者が誌面を通じて読者コミュニティの存在を実感する上での重要な意味を持っていたと言えるだろう。

## (1)新聞・雑誌

*Qalam*. Singapore/Selangor.

*Straits Times*. Singapore.

## (2)論文

坪井祐司 2016a 「コラム「千一問」について」坪井祐司・山本博之編著『『カラム』の時代Ⅶ——コラム「千一問」にみるマレー・ムスリムの宗教実践』京都大学地域研究統合情報センター、pp. 9-14。

坪井祐司 2016b 「1930年代初頭の英領マラヤにおけるマレー人性をめぐる論争：ジャウィ新聞『マジュリス』の分析から」『東南アジア 歴史と文化』、第46号、pp. 5-24。